

食料生産地域再生のための先端技術展開事業技術展開方針検討会
(農業・農村実証研究：2回目) 議事概要

日時：平成24年2月9日(木)13:00~16:15

場所：エルパーク仙台(仙台市青葉区)

参加者(途中退席者含む): 別紙1のとおり

<議事概要>

1. 農林水産技術会議事務局より、資料1及び資料2を使用し、平成24年1月25日(水)に開催した第1回検討会の概要、及び指摘事項と対応方針を説明した。
2. 農林水産技術会議事務局より、参考2を使用し、第1回検討会以降に提案された技術の概要について説明を行い、その内容等について外部有識者より意見を頂いた(議論の詳細は議事録のとおり:後日掲載)。
3. 農林水産技術会議事務局より、資料3を用いて、個々の研究課題の相互関係等を説明した「事業戦略マップ」について説明した。
4. 農林水産技術会議事務局より、資料4を用い、「公募研究課題(案)」の改訂版について説明し議論を行なった。資料4は、第1回検討会で使用した資料を、指摘を踏まえて改訂したものであり、以下の研究課題案5区分及び横断研究・分析案1区分で公募を行うことを提案した。

【研究課題案】

土地利用型営農技術の実証研究

- (1) 土地利用型農業における農作業自動化、省力化技術の実証研究
- (2) 情報コミュニケーション技術(ICT)を活用した生産・経営支援、環境管理の実証研究

大規模施設園芸・露地園芸技術の実証研究

- (1) イチゴ・トマトの大規模・効率的生産のための施設園芸技術の実証研究
- (2) 露地・施設園芸野菜の機能性評価、機能性成分の濃度安定化、露地野菜の効率的生産に関する技術の実証研究

被災地における果樹生産・流通技術の実証研究

- (1) 果樹の根域制限栽培技術、及び小果樹類の省力生産技術の確立
- (2) 高品質な果実を提供するための生産・加工・流通技術の実証研究

高付加価値化を支援する食品加工技術の実証研究

省エネかつ災害に強い農村(スマート・ビレッジ)のあり方に関する研究

- (1) 農村地域における未利用エネルギー利用技術の実証研究
- (2) 減災・防災システムの開発・実証研究

【横断研究・分析】

先端技術の評価、技術展開方針の策定及び経営分析研究

これらに対し、外部有識者より、(議論の詳細は議事録のとおり：後日掲載)。本日頂いた意見、及び漁業・漁村型の第2回目の検討会における意見も踏まえた上で、農林水産省において研究事業の公募要領を調整し、公募を行うことでした承された。

3. 最後に参考資料にもとづき、今後の公募スケジュール(案)等の説明を行った。

(以上)

(別紙1) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業技術展開方針検討会
(農業・農村型実証研究：2回目) 参加者

【外部有識者】(順不同 敬称略)

- ・吉川 敏一 京都府公立大学法人 京都府立医科大学 学長
- ・高瀬 修 宮城県 農林水産部 農業振興課 課長
- ・澁澤 栄 国立大学法人 東京農工大学大学院農学科農学研究院 教授
- ・伊藤 光寿 コープ東北サンネット事業連合 店舗商品部 商品開発担当部長
- ・佐野 泰三 カゴメ株式会社 常務執行役員
- ・伊藤 房雄 国立大学法人 東北大学大学院農学研究科 教授
- ・木附 誠一 株式会社三菱総合研究所 主席研究員

【参加者】

- ・大学、公設試験場、民間企業等 67機関より106名参加

【農林水産技術会議事務局】

- ・松田 紀子 農林水産技術会議事務局 研究総務官
- ・島田 和彦 農林水産技術会議事務局 研究推進課 産学連携室長
- ・土屋 博之 農林水産技術会議事務局 研究推進課 産学連携専門官
- ・嶋田 光雄 農林水産技術会議事務局 研究推進課 課長補佐